

丹沢のまもり

令和2年2月
神奈川県秦野警察署
山岳遭難救助隊発行

Safe Mountain-climbing, Enjoy Mountain-climbing.

令和元年下半期（7月～12月）発生 of 秦野市内山岳遭難事故一覧

	日時（曜日）	場所	年代性別	態 様	程度	パーティの規模
1	10月29日（火）	大倉尾根33番付近	60代男性	病気	軽症	複 数
2	11月1日（金）	善波峠付近	50代男性	装備不備	無傷	単 独
3	11月3日（日）	大倉尾根36番付近	40代女性	転倒	軽傷	複 数
4	11月4日（月）	大倉尾根20番付近	50代女性	転倒	重傷	単 独

【警察の統計上の数値】

- 転倒は、浮石を踏んだり、濡れた木の階段で滑ったのが原因です。
- 装備不備は、ヘッドランプを持っていないくて身動きが取れなくなったものです。
- 遭難は、下山時や夕暮れ時に多く発生しています。事故防止のため、余裕を持った登山計画と携行品の入念な準備をお願いします。

【遭難事故が多発しています。】

年が明けから遭難事故が多発し、1月13日現在、すでに3件の遭難事故が発生しており、うち1件は滑落による重傷となっています。

【事故の概要と注意点】

- 40代女性、大倉尾根を下山中、浮石を踏み転倒【軽傷】**
下山時は、気の緩みや疲労から遭難が多く、特に浮石や濡れた木などを踏んで転倒することが多いです。山を出るまで油断しないように。
- 60代男性、鍋割山南山稜を下山中、ライトを落として行動不能【無傷】**
手持ちライトで下山中、ライトが落ちた拍子に消灯し、ライトを発見できず動けなくなったもの。夜の山中は真っ暗で、ライトなしでは歩けません。
- 50代女性、イタツミ尾根を下山中、登山道を踏み外して滑落【重傷】**
登山道の端を歩行したことが原因。登山道は中央や山側を通行し、すれ違う時は道を譲る人が山側で待機するなど十分注意する。もし落下した場合は、スピードがつく前に、視界に入った木などをつかむ。

👉 実際の事故から多くを学ぶことで、遭難事故は回避できます。

○ ○
幅前山令遭一
に年岳和難二
遭比遭元難事
難マ難年故中
事イ事（平の
故ス故成生
が十故数三は
減一は一年
り五件一
まし〇件
た〇中
。で
大、の
大、山

山岳事故発生状況

秦野警察署山岳遭難救助隊

【秦野警察署】

0 4 6 3 - 8 3 - 0 1 1 0

【秦野警察署ホームページ】

https://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/72ps/72_idx.htm

【秦野警察署公式Twitter】

@Hadano_Police

